



6月12日・阪神競馬場 2勝目のウイナーズサークル

## 小島友実の あの馬の STORY



### セネット

ダートで一変、やべー距離延長で変わった身、なんつづわるの條件替わって新味を出す馬は少ないのであるね。今回、(+)紹介するセネットも少しづつ一頭。ダートに替わった4戦目以降は2勝、3着が2回と底を見せたものの、今後が楽しみな馬である。今回も管理する音無秀孝調教師(+)の馬の持つ能力や可能性なども伺つました。

「この馬を初めて見た時、胴長の印象でした。半兄のピーカーフトライが芝のマイル前後で活躍してからセネットは阪神の芝1800m(+/-)で「(+)」コースでした。」「前回の調教の動きが良く、期待したものの結果は3着。その後の2戦も芝を走つましたが13着、8着と大敗。残念ながら、却是向こうで走らせてもらつたね」

陣営は条件を変更。わねい、見事な変わった身を見せたので。

「ワーカーフォース産駒はダートで結果を出す馬がいるので、もしもしたら合ひのほかとかと並んで、阪神のダート1400mで向かいました。芝でのスタートは一息でしだけ! ダートに入るとじ行ものぶつが一変。直線の入り口で早めに先頭に立つと押し切つて勝ち上がりてくれた。それも直線では物見をして、ラヤンナフしてじぬふですよ。それなのに余裕で勝つたのでわかる力があると感じましたね」

このレースで物見をした事から、厩

舎ひば昇級したら4戦目以降は馬場での対応を試みておね。

「4戦目はシヤドーロール着用。好くダートからの番手位でレースを進めるも、追つ比べて及ばず3着。乗つた三浦皇成騎手の語りだし『この馬にシヤドーロールはあまり効果がないよ』つかの事なので、戦田からの「チーク」マークシーズを着用しておね」

チークマークシーズを着けた4戦目も3着。そして戦田、戦田で早めに先頭に立つ所を交わされて3着に敗れたレースが続いた事から、音無調教師は「(+)」で走りは文句なし。ペターレ連続で手綱を取る松若風騎騎手が、戦連続で手綱を取る松若風騎騎手が、『あまり早く仕掛けないよう』(+)バイス。それも功を奏し、セネットは7戦目で2勝目をマークしました。

「直線残り200m付近で先頭に立つと押し切つました。ただ、先頭に立つ後、足跡に驚いてシャンプーしたように幼さを見せてもらつたね」

このレースの後は放牧へ出て、小倉のダート戦を予定してたセネット。しかし放牧先の牧場でフレグモーネを発症してしまって、休養に入りました。

「ワーカーフォースの症状は軽度から重度まであります。この馬の場合は決して軽くなかったので、復帰までは少し時間がかかります。8月下旬から乗り込みを開始していますが、その前に食餌で休んでいた時期がある事を考ぐべく、何度も乗つ込む必要があります。利の花を咲かせたいですね」

復帰は11月くらいかなと見ていますよ。でも暑い時期を使わなかつた事で夏のダメージを受けなかつたし、馬が成長する歳の夏に無理をさせなかつたので、休養をプラスに捉え、馬体が成長してくれ事を期待しておます」

現段階で音無調教師がセネットをどの評価してつかのかを伺つました。

「まだ走りなじみには不満が残りますが、ダートに替わって2勝、3着2回。ダートの走りは文句なしです。ペターレはこれまででもタックル力があるのがいい馬の長所。体型からも、わりと離を伸ばしても広いのかなと考えていました。ダートなら1000万円クラスを卒業できるのではないかとしようつか。あとでは物見対策ですかね。実はこの馬がジャングルしたのは勝つた2戦だけで、自分で前に馬が立くなくなつた時に飛んでるんですね。だから勝つ時は余裕があるんですけど、その点からも全力を出し切れないな」と底を見せつけて思つます。ただ、レース中に飛んでしまつて、腰などに負担がかかる事もあるので、この辺は止めておね」

「(+)」の癖は止められないままですね。だから復帰戦ではもう一度、シヤドーロールを着けてみるつもりです」

何度でも咲く花・セネット。から名前がついたセネット。馬名に込められた意味通り、復帰後は何度も勝利の花を咲かせたいですね。

#### profile

グリーンチャンネル「トラックマンTV」(毎週金曜19:00~20:30)、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」ほか競馬ファンには馴染みの顔。平日は地方競馬、週末は中央競馬、そしてプライベートでも競馬三昧の日々を送る。本業のアナウンスのほかにも、競馬ブックのコラム「小島友実の好奇心keiba それいけ現場」の連載など活躍の場を広げている。